

千羽鶴作成に関するお願い

- 折鶴は 10～15cm 四方の紙で折り、1m の長さのひもでつないでください。

*一羽ずつバラのままであったり、ひもに通しただけで束ねられていないものをこちらで完成させることはできません。束ねられていないものは、準備の段階でバラバラになってしまいます。

*長いものは、掛け台の高さによっては、地面に着いてしまうため、上記 1m を目安にしてください。



- 後日お焚き上げを行いますので、金属、プラスチックなどは絶対に使用しないでください。

*束ねるところに金属製のリングを用いたり、折り鶴を通すひもの端止めにプラスチック製のビーズやボタン、ストローを使用したもの、飾りで化学繊維のカラフルなリボンやぬいぐるみ等を付けたものもあります。これらは絶対に使用しないでください。



写真のように厚紙、紙ストロー等をご利用ください

- 新宗連事務局（〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-57-10）あて、式典一週間前までにご送付ください。
*あまり早く送っていただいても新宗連会館で保管できるスペースが限られてしまうため、10月以降に送っていただけますと有難いです。
- 千羽鶴を送る際の包装、段ボール、緩衝材等も最終的にはゴミになってしまいますので、簡易なものとし、省資源化にご協力ください。
- 当日、持参される場合は、開式 30 分前（午後 1 時）までに会場にお越しください。

★ご不明な点がございましたら下記担当者へお尋ねください
新宗連東京事務局 03-3468-5551 担当＝青柳貴洋